

このたびは、当社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い下さいますようお願い申し上げます。なお、本取扱説明書/保証書はお手元に保管し、必要に応じてご覧下さい。

W-683 取扱説明書

製品仕様

■時間精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）
(電波時計による時刻修正を行わない場合)

※指針（針の表示）誤差
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合があります。

秒針：±1秒以内、時・分針：±3度以内

■使用温度範囲：0°C～+40°C

■使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池(LR6 1.5V) 1個

※充電式電池・リチウム乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。

※アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。

■電池寿命：約12ヶ月(単3形アルカリ乾電池1個使用の場合)

※付属の電池は、工場出荷時に付けられたモニター用電池ですので製品仕様の表示より寿命が短い場合があります。(モニター用電池とは、時計の機能や性能をチェックするための電池のことです。そのため付属の電池は保証の対象外です。)

※買取電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

■電波受信/時刻合わせ機能：

40kHz/60kHzのどちらか受信しやすい電波を自動受信し、現在時刻に合わせます。

●自動受信（最多3回/日）

●手動受信

■夜間秒針停止機能：

午前0時2分～午前6時2分の間は、秒針が12時の位置で停止します。

●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたかかる支出・損益・その他の損失に対してなんら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

保証・アフターサービスについて

●モニター用電池が付属している場合、電池は保証対象外です。

●保証の内容については下記保証書をご覧下さい。

尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。

●次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意下さい。

◆本保証書の提示がない場合

◆本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合

◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷

◆改造または分解により生じた故障・損傷

◆火災や天災地変による故障・損傷

◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化・損傷

●保証期間中・期間経過後とも、修理品はお客様がお買上げ店にお持込みいただきます。修理を依頼される場合はお買上げ店にご持参下さい。

●修理品をお持込み・ご送付される場合の運賃・諸掛り費用は、お客様にてご負担願います。

●修理・調整にあたって、部品・付属品などについては、一部代替部品を使用させていただくことがあります。

●本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります型番をご確認の上、ノア精密㈱サービスセンターにお問い合わせ下さい。（型番：W-683）

サービスセンター

〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1

TEL: 048-933-4080

<http://www.mag-clock.co.jp>

受付時間：月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

10:00～12:00, 13:00～17:00

※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。

あらかじめご了承下さい。

保証書 GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

| | |
|-------|-----------|
| 型番 | W-683 |
| お買上げ日 | |
| 保証期間 | お買上げ日より1年 |

この保証書は、
複数のため、
ご利用できません。

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。
本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。

本保証書は日本国内のみ有効です。（This guarantee is valid only in Japan.）

発売元 ノア精密株式会社

本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 ユーハイツ伸光3階

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。

電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

標準電波について

日本標準時(時刻情報をのせた標準電波)は、2015年4月現在、情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



●標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間にコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。

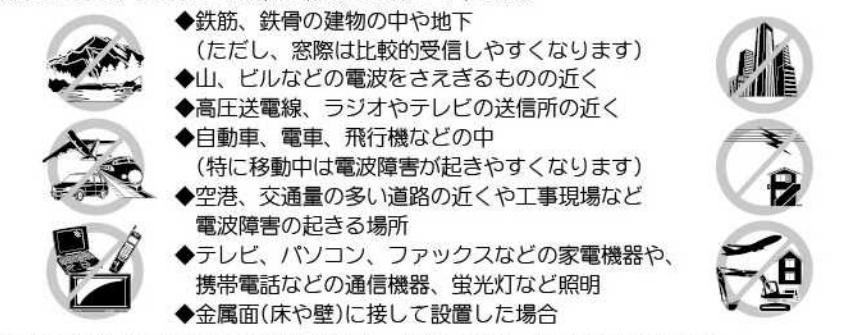
情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jjy.nict.go.jp>

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外は受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場合の条件によっては、日本の標準電波を受信したり、ノイズによって誤った時刻を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

使用場所について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下の条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。



※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。

このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

△注意と警告

安全にご使用いただくために
下記の注意事項を必ず守って下さい。

使用上の注意

○禁止 ●分解・改造をしないで下さい。

△注意 △警告 ●強いショックを与えないで下さい。●次のような場所での

●使用・保管は、しないで下さい。◆温度が0°C以下、または40°C以上になる場所◆浴室など、湿気の多い場所◆直射日光などの強い紫外線が当たる場所◆強い磁気のある場所◆振動の激しい場所◆工場、台所など、油分の多く発生する場所◆温泉場など、ガスの発生する場所◆温風機などの乾燥した風が当たる場所●ゴムやビニール系素材に長い間直接触れさせておくと、色移りや付着・変質をする場合があります。●梱包用袋は絶対にかぶらないで下さい。

電池について

○禁止 ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。●モニター用電池

が付属している場合、付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。●電池に直接ハンダ付けをしないで下さい。

△注意 △警告 ●寿命の切れた電池は、すぐに電池ホルダからははずして下さい。

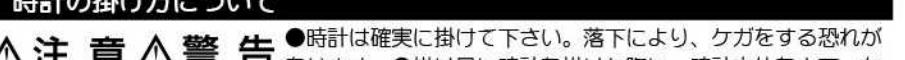
●電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、ケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。

目に入ったときは、失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は、医師に相談して下さい。●電池ホルダが機能別に分かれている2個以上の電池を使用する場合は、違う種類の電池(アルカリとマンガン等)や、新しい電池と古い電池を混せて使用しないで下さい。発熱の恐れがあります。●電池を廃棄、または保存する場合は、テープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。●電池着脱の際は、指先等をケガしないよう注意して下さい。

時計の掛け方について

△注意 △警告 ●時計は確実に掛けて下さい。落下により、ケガをする恐れがあります。

●掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。●時計は垂直・水平に掛け下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。●木質の厚い壁面・木の柱に掛けときは、付属の木ネジをご使用下さい。●コンクリート・石膏ボードなどの壁には付属の掛け具を使用せずに、壁の材質に合わせて市販の掛け具を使用して下さい。●記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談下さい。



お手入れについて

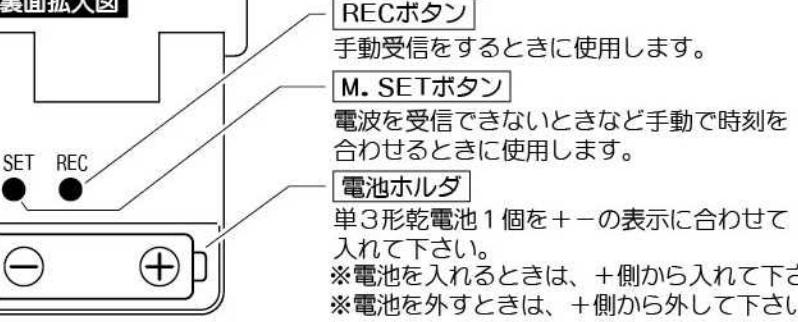
●プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふき後にカラバキをして下さい。木枠金属枠の場合は、柔らかい布でカラバキをして下さい。●ペンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

ご使用の前に

本製品は、日本標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持つ電波時計です。操作の手順や動作などが、一般的な時計製品と異なります。本取扱説明書の「ご使用方法」に従って、正しい操作をしていただきますようお願い申し上げます。本書をお手元に保管して下さい。

各部の名称

本体裏面拡大図



スタンドの取り付け方

時計を置いてご使用される場合は、本体裏面のスタンド差込み口に、スタンドを差込んで下さい。

※スタンドは必ず奥まで差込んで下さい。



ご使用方法

●電波受信中（受信のための時分秒針の運針中または停止中）は手動による時刻設定はできません。必ず通常の運針中に操作をして下さい。誤動作の原因となります。

① 電池を入れる

単3形乾電池1個を、時計用電池ホルダの+/-の表示に合わせて入れて下さい。
※絶縁紙・絶縁キヤップがついている場合は、これをはずしてから電池を入れ直して下さい。

② 初期電波受信を開始

電池を入れると電波受信状態となり、時・分・秒針が早回りをして、12時の位置で一旦停止します。

※電波受信中(4～17分間)は、針が止まつたままになりますが、故障ではありません。電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ち下さい。

●電波受信に成功した場合、自動的に時・分・秒針を現在時刻に合わせます。

●電波受信に失敗した場合、時刻を修正しないで、針は12時00分00秒より通常の運針を始めます。
→下記「電波受信ができなかった場合は・・・」を参照して下さい。

※電波受信に失敗して通常の運針を始めた後、12時16分になると秒針が12時位置に止まり、再度受信モードに入ります。受信に成功するまで自動受信を15回繰り返します。15回目の自動受信に失敗した場合は、通常の運針を始め、次の午前3時16分に自動受信を行います。

③ 時計を掛ける

※本説明書の「時計の掛け方について」と「電波時計について」を参照して下さい。

電波受信ができなかった場合は・・・

1 一昼夜そのままにして様子を見る

夜間は比較的電波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。

※初期受信が出来なかった場合は、最多15回まで自動で受信を開始します。

※電波を受信できない場合は、時計内部で計測している時間で次の自動受信時間まで通常の運針を始めます。

2 設置場所を変える